

3月定例会
(3/2~3/20...19日間)

[本会議]
3/2・3・16・17・20...議案審議
3/11...一般質問

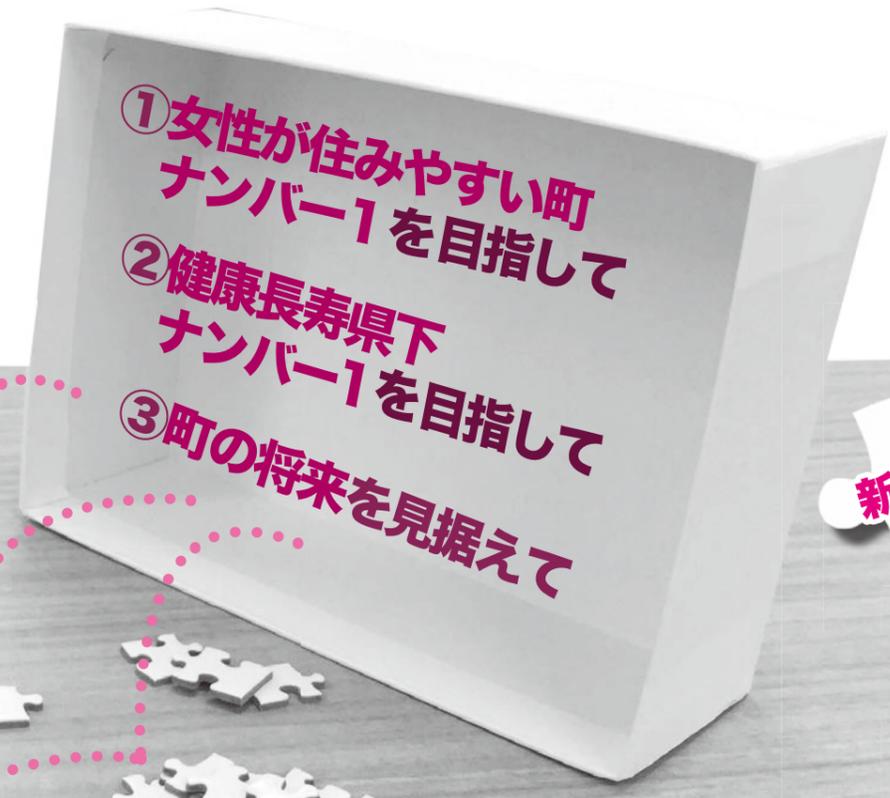
[委員会]
3/5...総務経済 3/6...文教厚生

新年度予算

平成27年度当初予算を可決

寄居再生!! 改革の第一歩に

3月定例会は、初日に町長から「人口減少や中心市街地の再興、施設の老朽化などの課題解決のため、改革を始める重要な年度になる」との所信表明があり、平成27年度予算を中心に30件の議案が提出され、すべて可決しました。
主な審議の経過をお知らせします。(審議結果は17ページをご覧ください)



一般会計 対前年度比10.3%増
116億9,600万円



※100万円未満切捨



魅力

議会は注目! 祭りやイベントの集中化による集客アップ策、NPO法人への運営方法・助成の見直しなど、今後の事業の方針を考えたい。



安心

新 介護マークの導入
不妊治療に助成
前立腺がんの検診

議会は注目! 少子化対策として、不妊治療の助成を新たに予算化。子育て世帯の応援施策では、こども医療費の対象年齢拡大、第3子以降の保育料無料化など期待できる。高齢者の生活支援、人間ドック・脳ドックの助成拡大、前立腺がん検診導入など健康づくりは、安心のまちづくりに重要なもの。

新 出張美術館事業を開催
避難所開設・運営体験やHUGの導入



快適

議会は注目! 出張美術館の開催は、文化・芸術に大きな影響を与え、男衾駅周辺地区や寄居PAsmartICの整備、中心市街地の再整備は、町の活性化につながる。

新 は新規事業です



活力

新 空き店舗等活用補助事業を創設
中学生海外研修事業を復活

議会は注目! 店舗の改装費、広告宣伝費などを助成する空き店舗等活用補助事業の創設。まちコン・まちバル事業による活性化。ホンダ関連企業等の誘致に向け、企業訪問や立地支援制度のPR、土地利用を考えたい。

新 「見ます 聴きます 話します 訪問事業」の立ち上げ
公共施設等総合管理計画
職員提案制度の立ち上げ

協働



議会は注目! 町の最上位計画である次期総合振興計画の策定など、今後の町の指針づくりが予定されている。計画の策定は、議会や町民と連携し、まちづくりの設計図となるよう努められたい。

ワンポイント

主な事業とその概要は、「広報よりい4月号」をご覧ください。



賛成 寄居創生元年にふさわしい予算を評価
原口 孝議員

地方における経済回復の実感は乏しい。当町でも人口減少、地域の活性化、教育、水道等の課題への対応にスピード感が必要。町長の掲げる『寄居創生元年』にふさわしい大型予算は大いに評価されるべき。予算に盛り込んだ事業展開を基礎に発展するものと期待する。組織一丸となって町民ニーズを的確にとらえたまちづくりの推進を要望する。

賛成 将来を見据えた施策と計画策定を評価
峯岸克明議員

①少子化対策の充実(不妊治療助成、学童クラブ開所時間延長等) ②健康長寿(人間ドック・脳ドック助成拡大等) ③将来を見据えた計画策定(総合振興計画、公共施設等総合管理計画等)など、町の課題に積極的に取り組む予算編成となっている。過去最高の予算総額だが、国・県の補助金を最大限活用し、財政健全化にも極力配慮している。

反対 町民と心ひとつに取り組むと感じられない
田母神節子議員

町民の福祉向上のため、全庁一体で取り組むには民主的な手続きが必要。いまだ同和対策事業へ予算措置し、保育所の給食委託は保護者の意見を聞かないで決定。町長らの報酬額を戻す一方、職員の給料は引き下げる。また『創生元年』のスローガンに掲げた「女性の住みやすい町ナンバーワン」などは、町民と心ひとつに取り組めるものを感じることができない。

次のページは「議員が問う! みんなのお金、どう活かす?」